

非常時局と技術者の覺悟

北支にまた上海に、暴支膺懲の戈をとつて言語に絶する困苦と鬪ひ乍ら、連戦連捷よく國威を發揚せられつゝある皇軍將士に感謝いたします。

支那事變が單に日支間の問題でない事は今や如何に時事に迂遠な人々の間にも了解せらるゝ處となりました。時代はまさに事實上世界史的轉換期に入つてゐると見なければなりません。我國の行動に對して、敵たると味方たるを問はず、世界列強が如何なる態度を以て之を見、また如何に惑亂沸騰してゐるかを思ふとき、私共は其處に多くの世界史的重大問題が生起しつゝある事を見逃し得ないからであります。

問題の一つは、國際政治上誤れる××主義に依つて固持されて來た、極めて不公平なる資源の分配を、世界の平和と人類永遠の幸福の爲に、此の際如何に改善し、均衡ならしむ可きかにかゝつてゐると見る事が出來ます。さうして此重大事業は、未だ何人によつても嘗て企てられなかつた處であります。蘆溝橋事件に端を發し、敢然暴支を膺懲すべく立つた我國が、今や舉國一致、國民總動員體制下に限りなき犠牲を忍びつゝ、兵馬を進める所以も實に歐洲××主義の飽くなき貪慾の犠牲となりつゝある隣邦支那の覺醒を促し、東洋否全世界平和の爲に彼をして此重大事業遂行に協力せしめんとするものに他なりません。

時局は重にして大、問題は廣大であります。數年來呼ばれて來た所謂『非常時』の意義が此處に具現せられた。私共は時局が如何に擴大し、又如何なる新事態が發生しやうとも、自若として之に應じ、一致協力國力の充實を圖らねばなりません。最小の原料による最大の生産、最低の材料による最高の建設こそ刻下我々技術者に要求せられつゝある重大任務であります。

上海に北支に世界史的重大事業遂行の爲に身命を賭して奮闘するわが將兵の勞苦を思ふ時、我等も亦敢然建設の第一線に立つて、あらゆる困苦と窮乏に堪えつゝ國力充實に邁進すべきを覺悟したいのであります。